



ひばりが丘学園が 良い実習先の理由

REASONS for a good training destination



理由
1

丁寧な振り返りと反省会

実習中は一緒に生活支援を行う先輩職員とのこまめな振り返り&実習担当との反省会で、職員からじっくりと学べる環境。

理由
2

子どもと職員の距離



日頃から、子どもたち一人ひとりと向き合うことを大切にしているからこそ、信頼関係が築かれている。

理由
3

子どもと一緒に成長

子どもの成長を身近に感じられるのは嬉しい！その成長の影にはきっと実習生自身の変化もあるはず。

福岡県立大学 卒業
ひばりが丘学園 主任

手島 優子

Teshima Yuko

「自分の家みたいな気持ちになった」という実習生の言葉が嬉しかったぞ。



一緒に楽しく学びの時間を



ひばりが丘学園
の実習

とある1日

| | |
|------------------|-------|
| オリエンテーション (初日のみ) | 11:00 |
| 生活支援 | 11:30 |
| 休憩(※2) | 14:00 |
| 生活支援 | 16:00 |
| 終了・ミーティング | 21:00 |

社会福祉法人朝倉社会事業協会
(取材園: 児童養護施設ひばりが丘学園)

法人情報

福岡県朝倉市
馬田3246
☎0946-22-2907
設立:1951年6月

法人情報はコチラ



大舎制と小規模グループケアの両施設を運営。園内には家庭菜園やお茶畑もあり、自然環境にも恵まれている。モットーは、明るく、楽しく、元気よく、そして優しく。研修や先輩職員のフォローも手厚いので、新人職員も一人で悩みを背負うことなく、安心できる環境が整う。見学を希望する場合は、まずはお気軽にお電話ください！



いい実習先を探そう SPECIAL
施設別

児童養護施設

心と心が通う実習とは…

実習生が恋しい子どもたち

「○○ちゃん、なんしようかな？また来んかな？」と実習生が帰った後も、子どもたちが話していることがあるんです。そう教えてくれたのは、児童養護施設ひばりが丘学園で実習担当を務める主任の手島さん。年間、何十人もの実習の受け入れをしている。実習を終えた学生からは、「児童養護施設の実習がイメージが変わりました」「想像以上に職員と子どもの距離が近くてびっくりしました」という声が続々と届く。そんな同僚の実習について話を伺った。大舎制と小規模グループケアからなる同僚園。実習中は、幼児と学童の両方の支援を約5日ずつ経験できるようにしている。実習初日、実習生が同僚園に到着するとまずはオリエンテーションを受け、その後、先輩職員たちがしっかりと見守る環境のもと、実際に生活支援を担当していく。

子どもの成長と実習生の成長

「学校で話を聞いてくる方も多くいるのですが、最初は試し行動をする子どもたちもいます。でも、子どもたちの行動には意味があるんです」手島さんは、続けてこうアドバイスする。「子どもたちは、実習生の皆さんのこともよく見ています。大舎制(※1)という環境下でも、一人ひとりの状況を把握し、その子にあった声かけをしていくと、次第に心を開いていけるんだと教えてくれるようになります。私たち職員が普段から心がけていることも一緒にです」こうしたらいいよ。○○ちゃんのごはんもよそってあげる。次第にそんな声も聞こえてくるんだとか。実習期間中の子どもたち、実習生の双方の変化に目を細める手島さん。「子どもたちとどんなことをして過ごそうかな、そんな前向きな気持ちでぜひ実習にいらしてください」

※1 1舎につき20人以上の児童が生活。全体で共有する設備が多い。
※2 休憩時間は、実習生専用の部屋で自由に過ごせる。休憩をしっかりとりながら、子どもの生活に合わせた1日8時間の実習。